

安全・安心・安定した 供給を目指して



災害に備えて 飲料水を備蓄しましょう

大人 1 日 3 リットルの水が必要といわれています。
災害に備えて一週間分の水を備蓄しておくのが
望ましいといわれています。



施設・配管の 老朽化対策が急務です！

浄水場や配水管の老朽化が進んでおり、
対策が急がれています。

水道やはば かわら版

創刊にあたって

矢巾町では、水道ビジョンの基本理念として「大好き！水」を掲げ、「安全の実現」「安心の実現」「持続の実現」に向け、信頼していただける水道事業を目指しており、水道の情報発信として「水道やはば かわら版」を発行することにしました。

全国的に問題となっている水道施設の老朽化や、地震に備えた耐震化などの情報をはじめ、町民の皆さんに役立つ水道の話題をお届けしていきます。

これからも、水道事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「水道やはばイメージキャラクター」
じゃじゃっと君

矢巾町の水道施設整備イメージ



矢巾町上下水道課

岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第 13 地割 123 番地
TEL : 019-697-2111 (代表) FAX : 019-697-3121
水道やはばホームページ <http://suidou.town.yahaba.iwate.jp/>



浄水施設の更新

●浄水施設の更新はどうするの？

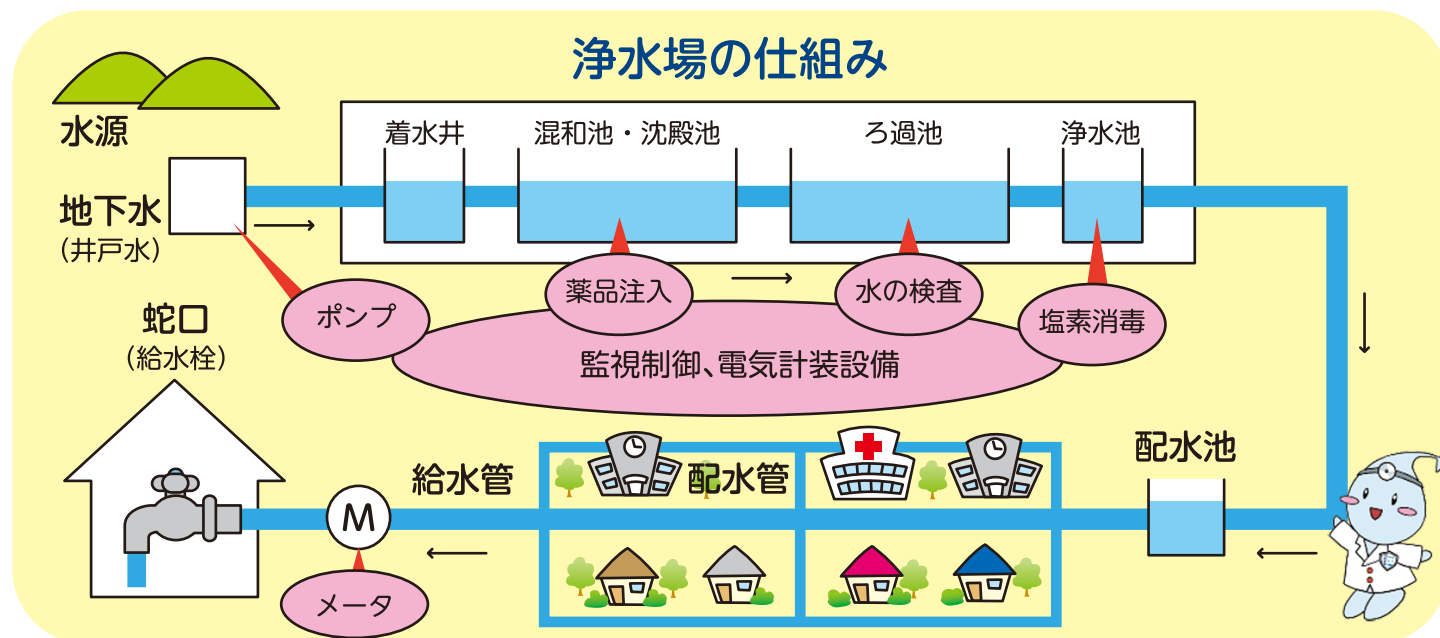
矢巾町の水道施設は東部系と西部系の2つの系統、浄水場で構成されています。平成35年度までに東部浄水場の監視盤や電気設備、計装設備等の更新を予定しているほか、岩手医科大学附属病院の開院に併せて、藤沢地区に新配水場の建設を行います。

【浄水施設】

	東部系	西部系
水源	地下水(浅井戸2井・深井戸2井)	地下水(深井戸5井)
施設名称	東部浄水場	西部浄水場
場所	矢巾町大字高田16-31-1	矢巾町大字煙山3-566
給水開始	昭和41年	昭和50年
配水方式	ポンプ圧送	自然流下
浄水能力	5,800m ³ /日	8,710m ³ /日
浄水方法	急速ろ過・塩素処理	急速ろ過・塩素処理

【配水池】

	名称	構造	容量	建設年度	経過年数
東部系 (東部浄水場)	1号配水池	RC造	800m ³	1967(S42)	48年
	2号配水池	RC造	1,000m ³	1977(S52)	38年
	3号配水池	PC造	1,000m ³	1993(H5)	22年
西部系 (西部浄水場)	1号配水池	RC造	1,600m ³	1975(S50)	40年
	2号配水池	RC造	2,500m ³	1997(H9)	18年
	高区配水塔	PC造	1,000m ³	1976(S51)	39年



水道管の更新・耐震化

●水道管の耐震化は、これからどうするの？

矢巾町では、重要施設などを考慮して更新順位を決め、平成35年度までに耐用年数が40年を超過して破損しやすい硬質塩化ビニル管などの老朽管(2.2km分)を耐震管へ更新します。

【配水管総延長(口径50mm以上)に対する耐震化状況】

	配水管総延長(A)	耐震化延長(B)	耐震化率(B)/(A)	耐震適合管延長(C)	耐震適合率(C)/(A)
H27	250.5km	32.2km	12.9%	76.5km	30.5%

【基幹管路(口径150mm以上)に対する耐震化状況】

	基幹管路総延長(A)	耐震化延長(B)	耐震化率(B)/(A)	耐震適合管延長(C)	耐震適合率(C)/(A)
H27	84.45km	9.7km	11.5%	34.0km	40.3%

- 耐震管 継手接合部が伸縮性、屈曲性及び離脱防止機能構造となっており耐震性能を有している管
- 耐震適合管 軟弱地盤、液状化しやすい埋立地以外の良質地盤に布設されている管路で耐震性があると評価できる管

地震により多くの管路に被害が発生しています。



継手が破損した硬質塩化ビニル管 1)



継手が抜けた鉄管 2)

被害は管路の老朽化と耐震機能のない管の使用が大きな要因です

このためいち早く耐震化することが必要です

引用:1)「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震水道施設被害等調査報告書」
2)「水道耐震化ポータルサイト」

